

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年7月31日

事業所名 放課後等デイサービスHARU豊中

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		テイルームとLANDと2部屋あり、適切に確保出来ています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		毎月勤務形態一覧表を確認し、適切と認識しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		手すり、スロープを付けています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		月に1回ミーティングを行っていて、送迎後に振り返りも適切に行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年6又は7月に配布して意向を尊重しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		各事業所の紹介ページの下部に年度ごとに設けています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者委員会を設けていない。	現在も運営方法、方針で指摘がなかったため、現状のままでもいいと考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間研修計画を立て、行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		適切と認識しております。	保護者アンケートを計画の見直しのタイミングごとに配布し、その後アセスメントを行い、個別支援計画につなげています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使い、適切と認識しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		発育年齢に応じたプログラムを作成しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しすぎないように工夫しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇や、土曜日でしか出来ないプログラムを作成しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		各児童に合わせて個別、集団でのテーマを考えて作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員が全員揃ってからその日の役割分担など情報を共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		申し送り書を作成し、共有を図っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		複写式の連絡帳を使っており、適切と認識しております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		適切と認識しております。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		曜日ごとに様々な活動を組み合わせさせて行っています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本的に児発管が参加しますが、状況によっては指導員も参加します。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者様と協力して、各学校の支援担当の先生から情報をもらい、連携を図っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在、該当する児童の利用はありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		今年度は情報提供の機会はありませんでした。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		該当者がおらずどちらともいえないが、協力していきたい。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連携を図り、研修の機会があれば参加させていただきます。また事業所連絡会に参加させていただいております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		今年度は交流する機会がありませんでした。	コロナ渦も落ち着いてきたので今後検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		事業所連絡会に積極的に参加させていただいております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に保護者様とコミュニケーションを取っています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		各家庭に応じて面談時または送迎時に行っております。	今年度も昨年に引き続き、希望する方の懇談は電話になりました。面談も行ってあります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っています。	利用者負担については、受給者証に定められた金額以外は頂いていません。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談を受けたときには助言やサポートを行うようにしております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		年齢が様々なので保護者の方々から必要は無いのでは?との声を頂いております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		マニュアルを作成し、適切に対応しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPのブログを定期的に更新しております。	
	35	個人情報に十分注意している	○		適切と認識しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		わかりやすい、伝わりやすい言葉で伝える様に心がけています。	室内には一日の活動の流れを絵で表したりと、様々な工夫をしております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		今年度も関わりを持つことを控えました。	コロナ渦も落ち着いてきたので今後検討していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		適切と認識しております。保護者様への説明は不十分なので改善を考えます。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎年二回行い、適切と認識しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年行っており、適切と認識しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束を行っていません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者様から教えていただき、適切に対処しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		適切と認識しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。